

<学校教育目標> 瞳かがやき、思いやりあふれる木葉の子 「気付く」「表す」「認め合う」

令和7年度 玉東町立木葉小学校

NO. 4

木葉の子だより ～いろとりどり～

令和7年6月25日(水)発行

文責 校長 前田 和代

6月は「心のきずなを深める月間」です

人権に対する意識を高め、人権を尊重する(自他の人権を守る、相手の痛みが分かる、差別のおかしさが分かる)子供を育てるため、6月を「心のきずなを深める月間」としています。本校では、一人一人との教育相談、なかよし集会(6月27日)、人権学習(7月4日の授業参観)、心のきずなを深めるための標語づくり等を行います。この月間の重点は、2つあります。

①自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにすること。

②“友達を分かろうとすること=自分を知ること”を基本に、得意なこと、苦手なこと、嬉しいこと、嫌なこと等、自分のことを出しつつ、友達のことをしっかり見つめ、それぞれを認め合うことから仲間として寄り添う気持ちを育み、みんなで気持ちよく生活するルールを作ること。

この2つの重点は、本校の学校教育目標とも重なり合います。27日に行なうなかよし集会では、木葉小人権スローガン「一人一人が主人公、光かがやく美しい花を咲かせよう」を受けて、各学年での「木葉っ子なかよし宣言」をみんなで話し合って決めます。みんながみんなのことを大切に考えて、行動し、認め合っていくことで、心があたたかくつながり合う子供たちを育てていきます。7月4日の授業参観も、ぜひお越しください。



歯みがき教室を行いました

6月4日～10日の歯と口の健康週間に伴い、全学年で歯みがき教室を行いました。町の歯科衛生士さんに来ていただき、染め出しをしました。赤く染まったところがよく磨けていないところで、前歯や奥歯の溝など、自分の磨き残しの部分を知ることができました。歯ブラシの持ち方や磨き方の話を聞き、赤く染まったところを手鏡を見ながら丁寧に磨きました。磨いた後は、「きれいになった!」「ツルツルになった!」と喜んでいました。力を入れず、小刻みに磨くとよいそうです。毎日の歯みがきを丁寧に行い、「めざせ!8020」ですね。



保小中連携研修会がありました

6月16日(月)に、町内の保育園・小学校・中学校の先生方が、木葉小の授業参観に来られました。全クラスの授業を見ていただき、その後、“学力充実部会”などの分科会に分かれて協議を行いました。町として統一して行うことの共通理解や、それぞれの園や学校での取組などを共有しました。いろいろな立場の人が関わることで、子供たちは自分に自信をもち、ふるさとを愛する子供に育つだと感じました。

読み聞かせが始まりました

一ヶ月に1回、朝の時間帯に、町の読み聞かせの会(みかん文庫・山北莓)の方々に読み聞かせに来ていただきます。6月10日(火)が今年度の1回目でした。子供たちは静かに聞き、絵本の世界に入っていたようでした。いろいろな世界を楽しみましょう! 今年度もお世話になります。

